



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月2日

上場会社名 NOK株式会社  
コード番号 7240 URL <https://www.nok.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 鶴 正雄  
問合せ先責任者 (役職名) IR部 部長 (氏名) 五十嵐 清史 TEL 03-5405-6372  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	163,957	1.8	△1,226	—	6,445	30.4	2,297	11.9
2023年3月期第1四半期	161,031	2.7	△1,394	—	4,941	△54.6	2,053	△70.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 31,617百万円 (76.8%) 2023年3月期第1四半期 17,887百万円 (88.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	13.56	—
2023年3月期第1四半期	11.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	904,987	599,844	60.1	3,204.97
2023年3月期	862,750	577,346	60.6	3,082.93

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 543,484百万円 2023年3月期 522,426百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	50.00	75.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	37.50	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	341,000	△3.3	2,400	△60.8	8,800	△46.9	2,300	△77.4	13.57
通期	735,200	3.6	23,500	52.8	34,200	28.8	18,800	41.1	110.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	173,138,537株	2023年3月期	173,138,537株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,563,022株	2023年3月期	3,680,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	169,490,511株	2023年3月期1Q	172,966,870株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 財政状態及び経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 財政状態及び経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国を取り巻く経済環境は、新型コロナウイルス感染に関する行動規制が緩和され、経済活動の正常化が進みました。しかしながら、原材料価格・エネルギー価格の高騰、物価上昇による景気の下振れリスクもあり、未だ先行きは不透明な状態にあります。

自動車業界は、半導体等の部品供給不足の影響が、解消に向かいつつあり、国内を中心に生産台数が増加しました。

電子機器業界においては、買い替えサイクルの長期化により、スマートフォンの需要が減少しました。また、ハードディスクドライブについては、前年度の市況の落ち込みから未だ回復途上にあり、需要は減少しました。

このような環境の中、当社のセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

シール事業におきましては、自動車向けについては、半導体等の部品供給不足の影響により落ち込んでいた生産が国内を中心に回復し、販売が増加しました。一般産業機械向けにつきましては、中国での景気鈍化の影響を受け、建設機械、工作機械、ロボット向けをはじめとした業界で販売が減少しました。

その結果、売上高は872億3千1百万円（前年同期比7.7%の増収）となりました。営業利益は、増収により、34億4千4百万円（前年同期比8.9%の増益）となりました。

電子部品事業におきましては、昨年度の中国ロックダウンからの回復により、車載バッテリー用途を中心に自動車向けの販売は増加しました。一方、買い替えサイクルの長期化によりスマートフォン向け販売は減少、また、ハードディスクドライブ向けの販売も需要回復の遅れにより減少しました。

その結果、売上高は699億6千5百万円（前年同期比4.2%の減収）となりました。営業損失は、減収の影響はあったものの、人件費の抑制等により、47億5千9百万円（前年同期は49億7百万円の営業損失）となりました。

その他事業におきましては、事務機向け製品においては海外での販売が減少したほか、特殊潤滑剤の需要が減少しました。

その結果、売上高は67億6千1百万円（前年同期比3.1%の減収）となりました。営業利益は、9千7百万円（前年同期比72.0%の減益）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は1,639億5千7百万円（前年同期比1.8%の増収）、営業損失は12億2千6百万円（前年同期は13億9千4百万円の営業損失）、経常利益は64億4千5百万円（前年同期比30.4%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億9千7百万円（前年同期比11.9%の増益）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、9,049億8千7百万円となり、前連結会計年度末対比で422億3千6百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金と棚卸資産、保有株式の時価上昇により投資有価証券が増加したことによるものです。

負債合計は3,051億4千3百万円となり、前連結会計年度末対比で197億3千8百万円の増加となりました。これは主に、賞与引当金が減少したものの、買掛金と繰延税金負債が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末対比で224億9千7百万円増の5,998億4千4百万円となり、自己資本比率は60.1%となりました。これは主に、配当の支払いがあったものの、為替相場の変動に伴い為替換算調整勘定及び保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の上期業績予想につきましては、見直しを行った結果、売上高、営業利益、経常利益を前回予想値より下方修正しております。親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想値より上方修正しております。通期業績予想につきましては、下期の業績予想を据え置き、上期業績予想の修正値分のみを反映させております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	104,690	109,991
受取手形及び売掛金	141,172	143,980
電子記録債権	19,760	20,516
棚卸資産	119,597	125,517
その他	16,065	13,556
貸倒引当金	△138	△154
流動資産合計	401,146	413,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	95,055	96,665
機械装置及び運搬具（純額）	107,778	111,568
その他（純額）	49,804	49,085
有形固定資産合計	252,638	257,320
無形固定資産	3,958	4,107
投資その他の資産		
投資有価証券	163,316	184,768
退職給付に係る資産	4,574	4,717
その他	37,243	41,000
貸倒引当金	△128	△334
投資その他の資産合計	205,006	230,151
固定資産合計	461,603	491,579
資産合計	862,750	904,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	52,839	60,721
短期借入金	54,329	55,609
未払法人税等	2,317	2,053
賞与引当金	11,195	8,944
その他	62,638	67,487
流動負債合計	183,319	194,816
固定負債		
長期借入金	17,526	19,192
繰延税金負債	13,075	19,339
退職給付に係る負債	63,046	63,306
役員株式給付引当金	345	414
その他	8,090	8,073
固定負債合計	102,084	110,326
負債合計	285,404	305,143
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	23,590	23,679
利益剰余金	368,823	362,473
自己株式	△4,741	△4,584
株主資本合計	411,008	404,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,186	72,028
為替換算調整勘定	46,440	60,767
退職給付に係る調整累計額	5,790	5,784
その他の包括利益累計額合計	111,417	138,580
非支配株主持分	54,920	56,359
純資産合計	577,346	599,844
負債純資産合計	862,750	904,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	161,031	163,957
売上原価	139,332	141,949
売上総利益	21,699	22,007
販売費及び一般管理費	23,094	23,234
営業損失(△)	△1,394	△1,226
営業外収益		
受取配当金	1,367	1,536
為替差益	3,578	4,137
持分法による投資利益	1,408	2,525
その他	692	1,170
営業外収益合計	7,047	9,370
営業外費用		
支払利息	493	768
デリバティブ評価損	—	703
その他	217	226
営業外費用合計	711	1,698
経常利益	4,941	6,445
特別利益		
固定資産売却益	1,196	20
投資有価証券売却益	1,596	—
特別利益合計	2,792	20
特別損失		
固定資産除却損	232	259
その他	5	36
特別損失合計	238	296
税金等調整前四半期純利益	7,495	6,168
法人税等	4,502	3,014
四半期純利益	2,992	3,154
非支配株主に帰属する四半期純利益	939	856
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,053	2,297

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,992	3,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,411	12,792
為替換算調整勘定	16,232	13,084
退職給付に係る調整額	208	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	1,863	2,637
その他の包括利益合計	14,894	28,462
四半期包括利益	17,887	31,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,027	29,460
非支配株主に係る四半期包括利益	2,859	2,156

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	81,005	73,047	6,978	161,031	—	161,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	566	3	128	698	△698	—
計	81,572	73,050	7,107	161,729	△698	161,031
セグメント利益又は損失(△)	3,161	△4,907	347	△1,399	4	△1,394

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	87,231	69,965	6,761	163,957	—	163,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	341	15	162	519	△519	—
計	87,572	69,980	6,924	164,476	△519	163,957
セグメント利益又は損失(△)	3,444	△4,759	97	△1,217	△8	△1,226

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社は、株式会社エストーの全株式を取得し、子会社化することを目的として、2023年7月26日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得会社の名称：株式会社エストー

事業の内容：超精密金型の設計・製作および超精密射出成形品の製造

## ② 企業結合を行った主な理由

株式会社エストー（以下「エストー」という。）は、精密樹脂製品において、精密金型設計・製造から射出成形品の生産までの一貫した生産体制を有することで、顧客ニーズに合った製品を作り上げる技術に強みを持っております。電気自動車（EV）の領域においては、リチウムイオンバッテリー用の樹脂ガasket製品が、高品質を要求される車載電池市場で高い評価を受け、大手EVメーカーにて採用されております。当社グループは、EVを含む次世代自動車を重要な成長領域と捉え、シール事業、電子部品事業の両主力事業において、販売の拡大と製品開発への注力を図っております。エストーを当社グループに迎え入れ、当社グループが強みを持つゴムを使用したシール製品、車載バッテリー向けフレキシブルプリント基板（FPC）といった製品群にエストーの樹脂製品が加わることで、より幅広いニーズに対応したEV関連製品群の拡充を目指します。また、シール事業、電子部品事業それぞれにおいて、主要製品と樹脂の組み合わせなどエストーの精密樹脂成形技術を活かした新製品の開発を通じて、さらなる事業基盤の強化を図ります。

## ③ 企業結合日

2023年第3四半期連結会計期間中（予定）

## ④ 企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

株式会社エストー

## ⑥ 取得する議決権比率

100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

## (2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現時点では確定しておりません。

## (3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## (4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。